

神楽

KAGURA

伝
伝

豊山町の「神楽」は、江戸時代後期の宝暦年間(1751～1764)に八所神社に伝わる大太鼓と共に始まったと考えられています。神楽保存会が結成され、厄除けや輪くぐり、大晦日の神前神楽で広く親しまれ、平成17(2005)年には町無形文化財に指定されました。

現在、神楽保存会では次世代へこの伝統を受け継ぐための活動に力を入れています。子どもから大人まで初心者の方も歓迎です。一緒に伝統の響きを未来へつなぎましょう。

(練習日:毎週木曜日 午後7時30分～午後9時 東部学習等供用施設)

問合せ・入会申込:熊沢直紀(090・7688・4626) 尾野 康雄(090・3259・5130)



約300年前、伊勢山地区が誕生した時期に生まれた「伊勢山神楽」は、八所神社や神明社での秋の祭礼にて神前神楽として奉納されています。戦後、10名の青年によって伝承され、昭和22(1947)年に伊勢山神楽保存会が結成されました。

子どもたちに継承するため、昭和58(1983)年に子ども会による神楽も始まり、平成22(2010)年に町無形文化財に指定されています。

(練習日:毎月第2金曜日 午後7時30分～午後9時 神明館)

問合せ・入会申込:柴田 さえみ(28・0239) ※入会は、伊勢山自治会に入会されている方に限ります。

ISEYAMA-KAGURA

伊勢山神楽